

特集 道の駅にあるDDD.Laboで、ものづくりを始めよう!

ものづくりの新たな拠点として、DDD.Laboが誕生しました。このドローンに特化したラボでのものづくりをきっかけとして、子どもたちや若い人材が育ち「ドローンと言えば府中市」「府中市と言えばドローン」と言われる出発点にしたいと考えています。



8月10日に道の駅びんご府中にオープンしたDDD.Labo(スリーディーラボ)は、3Dプリンターや3Dスキャナー、卓上射出成型機を、誰でも利用することができるドローンに特化したものづくり工房です。パソコンで作成したデータを、3Dプリンターに出力し、プラスチックで造形するという方法で、作りたての物や新たな試作品の製作などに利用できます。

ドローンの部品に限らず、例えば、個人であれば、自分だけのアイデアを3Dプリンターで製作し、修正と造形を繰り返し返して、理想の形を作ることができ、また、企業などであれば、職員がものづくりにチャレンジすることができ、府中市の魅力やPRする新たな拠点として誕生しました。

子どもたちが自由な発想でものづくりを体験できるチャンスを作ることで、府中市だからこその経験を持つ未来のものづくり人材が育つことを大いに期待しています。



DDD.LaboのFacebookから予約ができます。

スリーディーラボ DDD.Labo @道の駅びんご府中

営業時間 ▷月曜日～金曜日…16時～20時
▷土・日、祝日…10時～20時

料金・メニュー

メニュー	料金	内容
ワークショップ	1,000円～3,000円/回	ものづくり体験 ▷トイドローン体験教室 ▷3Dペンを使ったキーホルダーづくりなど
時間使用	1,000円/時(機械稼働時間)	材料費、機器操作サポートを含む ▷3Dプリンタでドローンの自作パーツの製作など
月額会員	8,000円/月+材料費	使用時間に制限はない。 ※学生は月額4,000円/月+材料費。
企業会員	30,000円/月+材料費	会員企業に所属する人であれば、誰でも利用ができ、材料費のみの負担で使用時間に制限はない。

利用できる機器

- ▷3Dスキャナー…立体物をスキャンしてデジタルデータを作成できる。
- ▷3DプリンタSLA、FDM…デジタルデータを立体化する。
- ▷卓上マシニング…デジタルデータで制御する切削機械。
- ▷卓上射出成型機…型枠へプラスチック素材を流し込んで作成。同一製品の量産が可能。
- ▷レーザーカッター…レーザーで彫刻やカットなどの加工を行う。